

「平成 30 年 5 月 1 日に思う」

先日、国立社会保障・人口問題研究所が 2045 年の人口予測を発表しました。その中で、本村の人口は 270 人になるとされ、さらにその減少率が全国で一番高いという厳しいものでした。

これはあくまでも予測であり、皆さんが必要以上に悲観したり、意識することはありませんが、あえて私は周囲の予想をいい意味で裏切り、覆すことに精一杯挑戦したいと思います。

それにしても、あえて御幣を恐れずに言うと、今回の「報道」そのものに違和感を覚えます。もちろん報道の使命もその役割も十分認識していますが、今回この結果を報道することで「地方創生に水をさす結果にならないか」「その地で“今”を生きる人たちの希望はどうなるのか」等々、あまり好ましくない影響を与えるように思えてなりません。

我々の村の取り組みや、村づくりの方向性が間違っているとは思えません。

とはいえ、この予測を踏まえ「村を守る」という強い意志のもと、政策に知恵や工夫は足りているのか今一度しっかり分析し、評価すべきことや改善すべきことなどを精査する考えです。

このことは、「都市にはない豊かな暮らしを築く」ことを深化（進化）させることにもつながります。

これらの予測は真摯に受けとめ、「残念な結果」にならないよう、誠心誠意努力を重ねる覚悟です。

皆さんの忌憚のないご意見をお聞かせください。